

2007 年 5 月 7 日

2007 年第 1 四半期の BMW Group、順調に推移

ユーロ高などの影響を受けるも、年間の収益および販売台数の予測を達成する見込み

ミュンヘン発(2007 年 5 月 3 日): BMW Group は、厳しい状況にもかかわらず第 1 四半期も順調な推移を見せています。当初の予測通り、ユーロ高が続く為替レートや原材料価格の高騰、ニューモデルの初期経費といった影響がありました。さらにロールス・ロイス社株の他社株転換債の一時利益により昨年の第 1 四半期に非現金費用が増加し、利益に変更が生じました。

2007 年第 1 四半期の売上高は、前年同期(116 億 1800 万ユーロ)を 2.9%上回る 119 億 5100 万ユーロとなりました。税引き前利益は前年同期(12 億 9600 万ユーロ)を 34.3%下回る 8 億 5200 万ユーロとなりましたが、前年同期の数字にはロールス・ロイス社株の他社株転換債の一時利益 3 億 7500 万ユーロが含まれています。一時利益を除いた Group の利益は、11.7%減となりました。この減益にはユーロ高、一連のモデルチェンジおよび初期経費が影響しています。税引き前利益は、前年同期(9 億 4800 万ユーロ)を 38.1%下回る 5 億 8700 万ユーロに留まりました。

今後数ヶ月のうちに、業績は著しく向上

第 1 四半期の業績は、BMW Group の予測に合致しています。生産や販売の開始時には多くの初期経費がかかりますが、ニューモデルの導入は将来的に利益を生みます。BMW AG 取締役会ノルベルト・ライトホーファー会長は次のように述べています。「今後数ヶ月のうちに、業績は著しく向上すると思っております。今年に入って 3 ヶ月、我々は年間目標の達成に向けて着実に歩んでいます。BMW Group は 1 桁台後半の成長率、140 万台以上の販売台数達成ならびにロールス・ロイス社株の他社株転換債の一時利益を除外して過去最高を記録した前年度を上回る税引き前利益を達成する見込みです」

前年度ほどの影響ではなくとも、ユーロ高が続く為替レートや原材料価格の高騰は今後も継続すると思われます。一方、3 つのブランド全てにおいて販売台数の新記録を達成することが利益につながります。BMW Group は、効率性および生産性の向上を継続的に実施していきます。

従業員数も増減なし

第1四半期末現在での BMW Group の従業員数は、前年同期(106,179 人)を 0.6%上回る 106,855 人となりました。2006 年 12 月 31 日(10 万 6,575 人)と比較し、0.3%の増加となりました。

多くのニューモデルを発売

今年も BMW Group は、多くのニューモデルを発売していきます。ニューBMW 3 シリーズ・カブリオレ、さらに 1 シリーズ、5 シリーズ・セダン、ツーリングのマイナーチェンジが 3 月末に発売されました。2006 年 11 月にアメリカで発売されたニューBMW X5 は、ヨーロッパとアジアの市場でも販売が開始されました。同様に、ニューMINI は第1四半期末までに主要市場で販売が開始され、4 月末には MINI One および MINI Cooper D が新たに加わります。MINI Clubman も、今年後半に発売される予定です。さらに BMW 1 シリーズの 3 ドア・バージョンが 5 月より、BMW M5 ツーリングが 5 月末より発売されます。ロールス・ロイスのファントム・ドロップヘッド・クーペは、2007 年夏から納入されます。モーターサイクル部門の製品攻勢は、今年も継続されます。

第1四半期の販売台数、わずかに増加

これまでの第1四半期中でも、今年度の販売台数が過去最高となりました。モデルチェンジがあったにもかかわらず、BMW、MINI、ロールス・ロイスブランド合計の販売台数は前年同期(332,923 台)を 0.1%上回る 333,276 台となりました。販売台数は、ニューモデルが貢献し今後数ヶ月で大幅に増加する見込みです。

BMW ブランド単体の第1四半期の販売台数は、前年同期(283,297 台)を 1.0%上回る 286,185 台となりました。MINI ブランドは、MINI One と MINI Cooper D の発売時期が 4 月末で製品構成が制限されていたため、販売台数は前年同期(49,519 台)を 5.1%下回る 46,978 台となりました。ニューモデルの登場により、MINI ブランドの販売台数は大幅な増加が見込まれています。

超高級車部門のロールス・ロイスブランドは、特に北アメリカとアジアでの成長が著しく、ファントムの販売台数が前年同期(107 台)を 5.6%上回る 113 台となりました。さらにロールス・ロイスブランドでは、最高の国際安全基準を満たすニューモデルを発表する予定で、まずはヨーロッパと中東で発売される予定です。

乗用車部分の税引き前利益は、前述の通りユーロ高および原材料価格の高騰、モデルチェンジなどの影響を受けました。税引き前利益は前年同期(7 億 6100 万ユーロ)を 20.0%下回る 6 億 900 万ユーロへとなり、収益は前年同期(112 億 3100 万ユーロ)を 1.7%上回る 114 億 1800 万ユーロとなりました。

モーターサイクル部門はニューモデルにより順調な伸び

モーターサイクル部門は、ニューモデルにより順調に伸び続けています。販売台数は前年同期(19,051 台)を 20.9%も大幅に上回る 23,029 台に達しました。モーターサイクル部門の第 1 四半期の収益は前年同期(3 億 1300 万ユーロ)を 17.3%上回る 3 億 6700 万ユーロとなり、税引き前利益も前年同期(2900 万ユーロ)を 17.2%上回る 3400 万ユーロに達しました。

ファイナンシャル・サービス部門も引き続き好調

ファイナンシャル・サービス部門の第 1 四半期は引き続き好調でした。貸借対照表に計上された実績では、前年同期(407 億 9600 万ユーロ)を 12.1%上回る 457 億 2700 万ユーロとなりました。リースおよびローン契約数は前年同期を 10.3%上回る 2,337,645 件に達しました。また、新規 BMW Group 車の融資は 44.2%で、前年を 2.7%上回りました。収益は前年同期(27 億 3800 万ユーロ)を 12.6%上回る 30 億 8300 万ユーロへとなり、税引き前利益は前年同期(1 億 7300 万ユーロ)を 5.8%上回る 1 億 8300 万ユーロとなりました。

* * *

3 月 31 日現在の中間報告書は、www.bmwgroup.com/ir よりダウンロード可能です。

BMW Group 業績

		2007 年 第 1 四半期	2006 年 第 1 四半期	増減率 (%)
生産台数				
乗用車	台	382,019	344,734	10.8
モーターサイクル	台	35,795	29,540	21.2
販売台数				
乗用車	台	333,276	332,923	0.1
ブランド別内訳:				
BMW	台	286,185	283,297	1.0
MINI	台	46,978	49,519	-5.1
ロールス・ロイス	台	113	107	5.6
モーターサイクル	台	23,029	19,051	20.9
第 1 四半期末時点での従業員数				
		106,855	106,179	0.6
キャッシュ・フロー				
	100 万ユーロ	1,253	1,221	2.6
売上高				
	100 万ユーロ	11,951	11,618	2.9
部門別内訳:				
乗用車	100 万ユーロ	11,418	11,231	1.7
モーターサイクル	100 万ユーロ	367	313	17.3
ファイナンス・サービス	100 万ユーロ	3,083	2,738	12.6
調整科目	100 万ユーロ	-2,917	-2,664	-9.5
税引き前利益¹	100 万ユーロ	852	1,296	-34.3
部門別内訳:				
乗用車	100 万ユーロ	609	761	-20.0
モーターサイクル	100 万ユーロ	34	29	17.2
ファイナンス・サービス	100 万ユーロ	183	173	5.8
調整科目	100 万ユーロ	26	333	-92.2
所得税	100 万ユーロ	-265	-348	-23.9
純利益¹	100 万ユーロ	587	948	-38.1
1 株当たり利益^{1, 2}	ユーロ	0.90/0.90	1.44/1.44	-37.5

1 税引き前利益にはロールス・ロイス社株の他社転換債での一時利益 3 億 7500 万ユーロを含む

2 IAS 第 33 条に基づく普通株 / 優先株 1 株当たり利益